

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 12月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら小田急相模原教室

保護者等数(児童数)25

回収数23

割合 92.0%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	1			曜日により利用する人数は不明なので十分かはわからない	契約時に一日の定員はお伝えしておりますが、より具体的にイメージできるような説明を心がけます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	2		5	専門性は適切。人数は上記と同様で不明。すみません。何人いてと知らないです。幼稚園に送迎していただくとき、開始時間がおそいので送迎できるスタッフを増やすかスケジュールの工夫などしてほしいです。	送迎の兼ね合いで、数か所経由しての到着となる場合があります。その際は添乗員を付けたり、ピストン運行をしたりと引き続き工夫をしていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	1		3		室内活動の様子を発信を情報ツールを用いて行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21			2		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	21	2			面談や普段からのやりとりもとても反映していただいています。	引き続き、ご家族やお子様の状況に合わせた支援提供のためにより詳細にニーズの把握に努めてまいります。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20			3		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22			1		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	1		3	予定表もあり子どもも楽しみに通所しています。	時期・季節に合わせた活動を盛り込み工夫をしていきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	4	2	10	この質問は通っている人に失礼だと思う	質問項目が指定書式のため、ご理解いただければ幸いです。
10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23						

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	22			1			
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	2	4	7			
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができ	22			1	写真なども送ってくれて状況がわかりやすい。	一方的な情報発信にならないよう努めます。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	4	1	1			
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	8	10	別になくても良い。あったとしても行けないかもしれない	ご要望に合わせ開催など検討してまいります。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	1			ラインではしてくるすごく良くしてくれる。	その都度、相談方法に合わせて対応させていただいておりますが、事業所内での相談などそれぞれのご家庭に合わせて対応していきます。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22				1	ラインで返事はあり。連絡ノートにいろいろ日々のことを書いているが回答はない。毎回でなくてもとは思いますが回答はない。毎日記録して伝達してもらっている。	ノートへのお返事は都度記入させていただいておりますが、寄り添ったお返事ができるよう、また、お返事だけでなく、改めてお電話等での聞き取りなどしていきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信され	14		1	8		今回が開所後初めての公表となりますので、結果のご報告に取り組みます。	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	16	3		4			
常時等の対	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施	14			9		各種マニュアルは教室内に掲示、設置しており、また、毎月防災・避難訓練や交通ルールを守る活動を行っているため、それと合わせて実施内容についても周知していきます。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11			12			
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	22		1		本人は毎週こばんはうすに行くのを楽しみにしています！！いつもとても楽しみにしており道を通る時も教えてくれ、マークをみてニコニコ先生と呼び方を決めているのでニコニコ先生行きたいと嬉しそうです。毎回行くたびに楽しかったと話してくれます。	これからも楽しく安全な活動が継続していけるよう努めます。	
	23	事業所の支援に満足しているか	22			1	長く通う必要があるならばこちらの療育が一番あっていて、いい先生がそろっていて安心できるなあと思っています。徐々に成長が垣間見られます。子どもの様子や対応等普段から多くフィードバックを下さり安心して通所しています。	ご家族やお子様とコミュニケーションをとり、様々な変化に対応し支援を構築できるようにします。	

404 22 17 85

77%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 12月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら小田急相模原教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0		
	2	職員の配置数は適切であるか	5	2	少ない日は足りない部屋に割り振っている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	携帯用の絵カードがある	コミュニケーションの手段としてそれぞれに合わせた手段を用意し、活用方法についても個々に合わせていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	1		感染、清潔保持の意識が弱い部分があると考えられるため、消毒箇所の再確認と研修を行っていききたい。クールダウンしたい児がいる際に静養室がスムーズに利用できるよう環境を整える。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		業務改善が必要と思ったときに都度話合っている。	研修を行っていききたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2		今回初めてのとりくみ今後継続的に行い改善につなげていく。事例なし
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開し	4	3		今回が初めて事例なし
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		今回が初めて事例なし
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2		研修への取り組みがまだまだ弱いためこれから参加の機会を増やしていききたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	契約時面談アセスメントシートで聞き取り	発達や成長、環境の変化等も踏まえて適宜アセスメントツールを使用し支援の手立てとして活用します。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的	7	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	毎月ローテーションで立案、原案で話し合い成果をつくっている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	月行事を取り入れるようにしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成して	7	0		
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認	7	0	朝礼で行っている打合せ時に支援について話し合っている		

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	打合せで児童のことを細かく話し合っている。	今後も朝礼・終礼、全体会議の際にお子様について情報共有や支援についての話し合いを行っていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0		
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2		利用児童と関係のある機関との関わりが主のため、その他の関係各所とも連携が取れるよう関係性を構築していく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1		就学や進学に際し、密な連絡、連携が取れるよう日頃より実態把握や情報の整理を行っていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解	6	1		今後も、送迎時に学校での様子について対面で聞き取りやこちらからの情報伝達も行っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		回数や頻度がまだ少ないため、積極的に研修参加をしていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	3		外部の児童との関わり等に関して、ご家庭の方針を踏まえつつ、交流の機会が提供できるよう努める。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	2		引き続き、地域の連絡会に参加していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つ	7	0		
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	2		まだまだ回数的には少ないため、今後積極的に行っていきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行って	6	1		今後もご希望の際に対応できるよう体制を整える。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5		父母の会の実施について、ご家庭のご意向を踏まえ開催検討していく。

	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ	7	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発	6	1		
	38	個人情報取扱いに十分注意している	7	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5		地域の方向けのイベントも検討していく。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	3		マニュアルの策定、職員周知にとどまっているため、積極的にご家庭向けにも情報発信していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2		実際の避難場所まで避難をする訓練ができていないため、来年度中に実際の場所まで向かう訓練の機会を設ける。
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2		事例が生じた際に対応していく。
	45	ヒヤリハット事例を作成して事業所内で共有している	6	1		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	年間計画に沿って研修を行っている。	内部研修だけでなく、外部研修の参加機会も設けしていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援	7	0		